

発表案（原稿）

Streago が、欧州宇宙機関（ESA : European Space Agency）向けに、プロ専用クラウド型 3D プリンティング事業基盤を開発

全産業を対象に設計された **Streago AirSpace** は、付加製造（**Additive Manufacturing**、3D プリンティング）用各種ツール、製造機械管理、関連事業管理に必要な諸機能を、ひとつのセキュアな産業用プラットフォームにまとめあげたクラウド基盤です。そこには、3次元設計データを護るための、強力な著作権保護機能が統合されています。

この **Streago AirSpace** プラットフォームは、ホワイト・レーベル・サービスとしても提供されます。

エストニアの首都タリン、日本の東京

登録商標「**Streago**」の名のもとに、産業向けにクラウド型 3D プリンティング・プラットフォームを開発・提供するエストニアの **43dB OU** 社は、本日、欧州宇宙機構（**ESA**）との調達契約に基づいて、同クラウド・プラットフォームを、2015年以内に **ESA** に納入すると発表しました。このプラットフォームには、プロ向けの 3D プリンティング事業運営とワークフロー管理機能が搭載されています。

The Virtual Factory of the Future™（未来の仮想工場）は、**Streago** が掲げる大胆なビジョンですが、創業者の **Kimmo Isbjörnssund** は「製造機能が柔軟性のある仮想ネットワークに移行する流れの中で、**Streago AirSpace** クラウド・プラットフォームは、新たな「未来の仮想工場」を実現するためには必須のツールです。**Streago** は、企業、3D プリント・サービス事業者、そして設計者に、付加製造（3D プリンティング）に必要な、エンド・ツウ・エンドのビジネス・ソリューションを提供します」と説明しました。

Streago AirSpace を使うと、オリジナル設計ファイルを安全に保管し、注文や見積りの管理、プリンタ機器の管理やユーザ管理、そしてデジタル・マーケットプレイスまでもが、それぞれの段階ごとに備わった著作権管理のもとで、安全に実現できます。

Streago AirSpace は、あらゆる産業での利用を前提に開発されています。したがって、付加製造機械（3D プリンタなど）とワークフローは、より製造現場との親和性が向上し、強固な安全性が備わることになります。**Streago** が目指すのは、高機能を必要とする産業向け **B2B** 製造ネットワーク、プロ向けプロトタイプ製造と 3D プリント・サービス事業での利用です。

産業を引っ張るリーダ企業と提携することにより、**Streago** は付加製造の重要性を具現化する産業クラウド環境を世に問うことができます。「必要に応じて、われわれは企業の基幹システムとの統合をはかり、柔軟性に富み且つセキュアなソリューションを設計し、納入いたします。われわれのビジョンに賛同

する企業とパートナーシップを組みたいと考えています」と、**Streago** の **Kimmo Isbjörnssund** は、続けてこうコメントしました。

Streago は、日本とアジア市場開拓を、東京の株式会社フィット・ワン・ホールディング（フィット・ワン）を起用して進める計画です。フィット・ワンの創業者で **Guardtime** の会長を務める加山幸浩は、こうコメントしています。「フィット・ワンは、**43dB** に協力して **Streago** 事業をまず日本で進めます。**Streago** の大胆なビジョン「未来の仮想工場」は、日本の産業が進んでいく方向を示唆するものですし、これを実現する **Streago AirSpace** への需要は極めて大きいと考えます。」

加山はさらに続けました。「**Streago** は、エストニアの企業家精神を示す事例です。フィット・ワンは以前から、**3D** プリンティング事業に必須の、事故の発生時に法的責任を明確化する、変更不能な監査証跡を実用化するブロック・チェーン技術の会社、**Guardtime** の支援をしてきました。そのベースとなる革新的な技術「**KSI (Keyless Signature Infrastructure)**」を開発した **Guardtime** に次いで、**Streago** は、フィット・ワンにとってふたつ目のエストニアからのプロジェクトです。エストニアの企業家精神を、私たちは高く評価しています。このふたつの会社が、エストニアのイノベーションや発明に関するレベルの高さを示しています。」

エストニアのタリンと日本の東京にオフィスをもつ **43dB OÜ** 社は、登録商標 **Streago** の名称をもって開業し、前記ビジョンに沿った「未来の仮想工場」実現のため、創造性の高い産業クラウド・プラットフォームを設計し、提供します。**Streago** は、新たな付加製造イノベーション到来に備えて、産業界からパートナーを得て、申請中の特許技術ソリューションの実現に邁進します。**Streago** は、現在公表可能なパートナー、未発表の大手グローバル企業などとの提携の中で成長します。

ESA は、欧州メンバー国の予算で運営されています。メンバー国の資金・知識資源を連携することにより、欧州の **1** カ国ではまったく不可能なプロジェクトや活動を実施しています。

43dB OÜ 社と **ESA** との契約は、**PECS (Plan for European Cooperating States** : 欧州各国共同プログラム) フレームワークに基づいております。ここに掲げたビジョンと内容は、欧州宇宙機関の正式見解を反映するものではありません。

Streago は、**43dB OÜ** がエストニアに登録した商標です。すべての権利は保護されています。

ESA のロゴは **ESA** に所属し、商標によって護られています。全ての権利は保護されています。

IT 技術分野での起業を支援するフィット・ワンは、**2005** 年に加山幸浩によって創業されました。加山は三菱商事在籍中の **36** 年間に、**PIRI**、ネットワン・システムズ、**VeriSign** など千億ドル級のプロジェクトを手がけ、**1998** 年の定年退職と同時に株式会社イーシー・ワンを創業、**2002** 年時価総額 **200** 億円でジャスダ

ック上場、という実績を持っています。フィット・ワンは、革新的な **IT** 技術を持つ事業を支援し、数々の成果を上げています。事例の一部：テレマテック・ドライブ・レコーダのクリュー・システムズ、ネット上の音楽サイト運営のモンスターラボ、仮想現実を使った三次元可視化技術の **VividWorks** そして前述の **Guardtime**。